



こんにちは。山登り好きの「岳」です。
 山好きな私が吉野川の分水嶺を歩きながら、読者の皆様に吉野川流域の山々の素晴らしさと現状を紹介したいと思います。
 第5回は、吉野川源流域の旧寒風山トンネルから瓶ヶ森までを紹介します。

9月9日晴れ、雲が出ていましたが遠くまで澄んだ登山日和でした。

この町旧寒風山トンネル近くの寒風山登山口から、まずは、桑瀬峠を經由して、伊予富士に向かいました。桑瀬峠から伊予富士までの登山道はササ原で景色も良く、気持ちの良い稜線です。稜線からは日本三百名山に選ばれている伊予富士が見えてきます。伊予富士はコブを連ねた山になっており、登山者の間では「ゴジラの背」と呼ばれ、親しまれています。

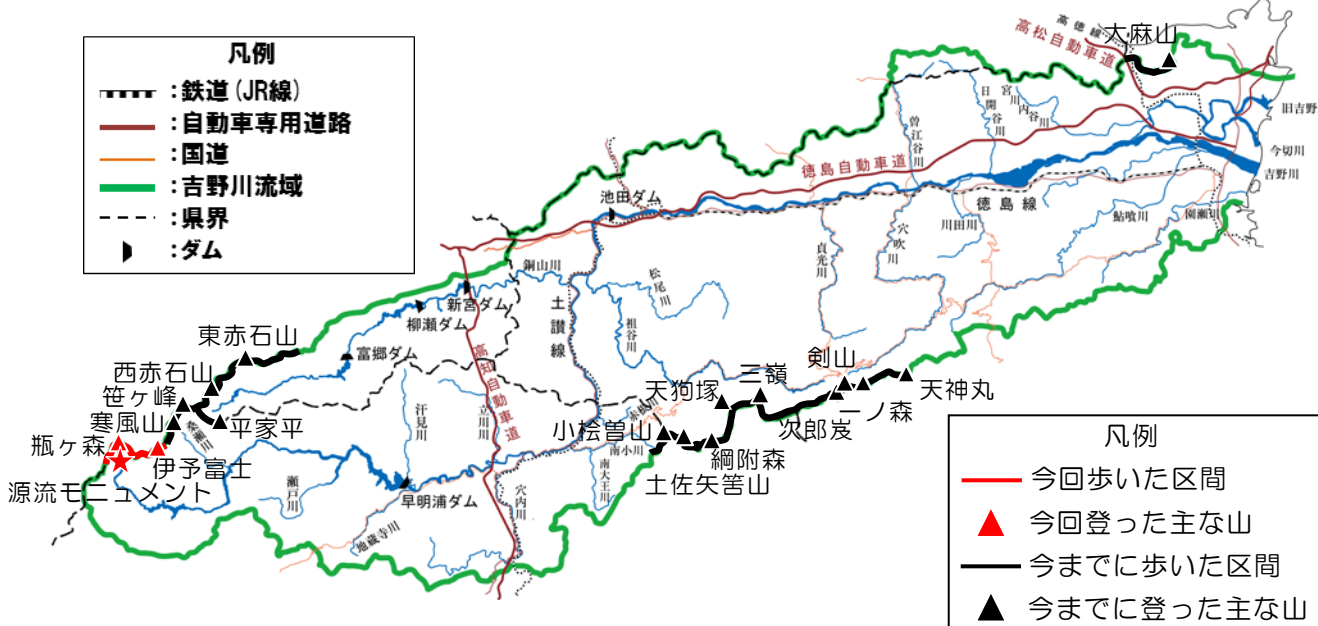
伊予富士の山頂からは東方面に笹ヶ峰が見え、西



ササ原の稜線から見た伊予富士



ゴジラの背で親しまれている伊予富士



方面には瓶ヶ森がよく見えていました。この日は空気も澄んでいたため、太平洋(土佐湾)まで見ることができました。(写真は見えにくくてすみません。)

伊予富士から分水嶺を瓶ヶ森方面に向かっていくと尾根沿いに縫うように走るUFOライン(雄峰ライン)町道瓶ヶ森線に出ます。この道は絶景のドライブコースとして人気があります。

さらに UFO ラインに沿って西に行くと神鳴池があります。この池は、大昔に崩壊が生じた大亀裂が山頂部で凹地になり池が出来たと云われ、今は水はありませんが、かつては水が湧き吉野川の源流であると云われています。

町道瓶ヶ森線の瓶ヶ森登山口に平成3年に建てられた吉野川源流の碑があります。この碑の下に源流があり、源流モニュメントが建てられています。

吉野川源流の碑から登ったところが日本三百名山に選ばれている吉野川の源である瓶ヶ森です。山頂はなだらかなササ原で素晴らしい景色の山です。山頂西側の氷見二千石原越しに見る石鎚山の眺めは最高です。

一度、吉野川の源である瓶ヶ森に登ってみませんか？



伊予富士から見た瓶ヶ森方面



神鳴池

◇今回歩いた距離 11.2km

◇今回歩いた分水嶺の距離 9.2km

今まで歩いた距離 76.3km / 全長約 402km

◇分水嶺制覇まで、残り 326km



伊予富士から見た笹ヶ峰方面



伊予富士から見た太平洋(土佐湾)



東黒森から見た UFO ライン (町道瓶ヶ森線)



西黒森から見た瓶ヶ森



瓶ヶ森の氷見二千石原越しに見た石鎚山



リンドウ



アサマリンドウ



シオガマギク



アキノキリンソウ



ヒナノウスツボ



モミジハグマ



オオマルハノテンニンソウ

番外編



吉野川源流モニュメント

皆さん、吉野川の源流がどこにあるかご存じですか？

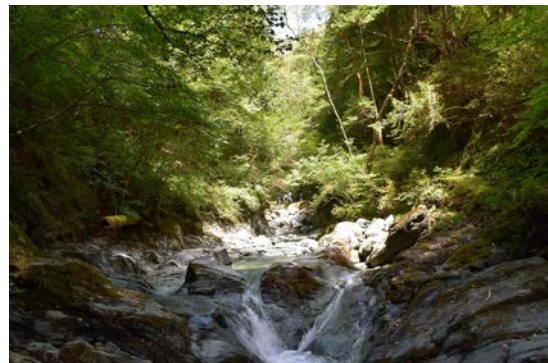
吉野川は河口から源流までの距離が194kmと四国で2番目に長い川です。その源は、高知県の町本川の瓶ヶ森の白猪谷が源流です。

9月30日に職場の仲間達と恒例の吉野川源流に行ってきましたので、紹介します。

登山口は、いの町寺川地区から林道を通っていくと白猪谷に架けられた源流橋を越えたところにあります。

その登山口からしばらく登山道を登っていくと白猪谷に出ます。この渓流の景色が素晴らしくマイナスイオンがたっぷりで日頃の仕事の疲れを忘れさせてくれます。

川を何度か渡り、川沿いに登っていくと吉野川源流モニュメントがあり、その横の岩と岩の間か



吉野川源流の白猪谷



何度か川を渡渉

ら流れ出る清水が源流です。この源流は、平成元年から2年にかけて十分な現地調査の結果、常時確実に絶えることなく流れ出るところを源流としています。また、モニュメントは平成3年に四国大学の井下先生に製作をして頂き、設置されたものです。

さらに上流に登っていくと滝があります。今回の終点です。

この辺りから、吉野川の河口までの約194kmの旅が始まっています。

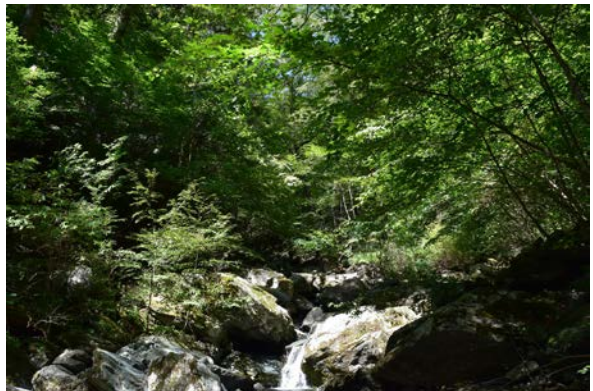
皆さんも吉野川の源流を見ませんか？



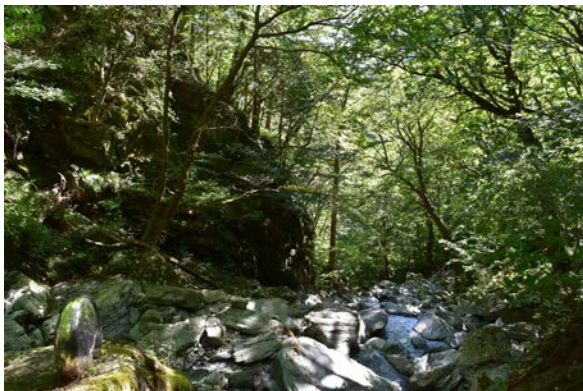
源流モニュメントに到着



源流モニュメント上流にある滝



滝のさらに上流



ここから吉野川の約194kmの旅が始まっている



今回のメンバー



ジンジソウ



アキチョウジ



ハガクレツリフネ



ツルリンドウ



シコクフシ



ヒュウガセンキュウ



シロヨメナ



ツルシキミ